

# FEP PF4610

EVERFLON+™

フッ素樹脂発泡体





Everflon+™ FEP PF4610は、発泡核剤を配合したフッ素樹脂です。この樹脂は白色ペレットとして供給され、窒素ガスを注入する発泡押出プロセスで使用され、誘電体絶縁体内に均一な発泡セルを形成します。フッ素樹脂を発泡させることで誘電率が低下し、小型化と軽量化が可能になります。Everflon+™ FEP PF4610の発泡絶縁体は、歪みを最小限に抑えた高周波信号伝送用ケーブルを製造します。

Everflon+™ FEP PF4610は、幅広いサイズと同軸ケーブルコアの製造に最適です。一般的な同軸ケーブルコアは、導体サイズが30AWG以上、肉厚が25mm以上、空隙率が20%～60%です。

これらの空隙は独立気泡構造で、直径は0.018mm～0.127mmです。達成可能な空隙率は、壁の厚さと処理条件によって異なります。

# データリスト

## Everflon+™ FEP PF4610フッ素樹脂の暫定的な標準特性データ

Property	試験方法		単位	標準値
<b>GENERAL</b>				
372°C/5.0kg重量でのメルトフローレート	ISO 12086	ASTM D2116	g/10 min	8~12
融点	—	D4591	°C	260
比重	—	D792	—	2.15
<b>機械</b>				
抗張力	ISO 12086	ASTM D2116	MPa	24
伸長	ISO 12086	ASTM D2116	%	300
<b>電気</b>				
誘電率		ASTM D150	1 GHz	2.0
散逸係数		ASTM D150	1 GHz	0.0004

### Note:

Pの特性に関する詳細は、[www.everflon.com](http://www.everflon.com) または FEP TechBook をご覧ください。  
これらの結果は、管理された条件下での実験室試験に基づいており、実際の火災条件下での性能を反映するものではありません。

## 処理

Everflon+™ PF FEPは、窒素ガスを注入することで、従来の単軸押出機に直接供給できます。プロセス接触金属は、フッ素樹脂加工に適した高ニッケル・低鉄合金である必要があります。プロセスには、直径、静電容量、およびガス流量を監視する装置を含める必要があります。

着色剤を添加する場合は、フッ素樹脂FEPに配合されたものを使用してください。着色剤の添加は、セル形成と静電容量に影響を与える可能性があり、プロセス調整が必要になります。

絶縁性能は、押出機の出力、ワイヤーライン速度、およびボイド率によって決まります。ボイド率は、窒素流量、プロセス温度、およびクエンチ点によって制御されます。溶融物がワイヤー上にドロダウンドされた後にボイドが成長するのが理想的です。絶縁体内の細長いボイドは、ドロダウンドコーン内でセルが早期に成長していることを示しています。

## 注意事項

---

Everflon™ FEP樹脂を使用する前に、安全データシートおよび最新版の「フッ素樹脂の安全な取り扱いに関するガイド」を参照してください。

容器の開封および使用は、局所排気装置 (LEV) を備えた換気のよい場所でのみ行ってください。Everflon™ FEPの熱処理中に発生する蒸気および煙は、作業区域から完全に排出する必要があります。これらのポリマーによるタバコの汚染は避けなければなりません。熱処理中に発生する蒸気および煙が適切に排出されていない場合、またはEverflon™ FEPで汚染されたタバコや紙巻きタバコを吸った場合、悪寒、発熱、喉の痛みなどのインフルエンザ様症状を引き起こす可能性があります。これらの症状は、曝露後数時間経過するまで現れない場合があります。通常は約24時間以内に治まります。マグネシウムやアルミニウムなどの微細金属との混合物は、状況によっては可燃性または爆発性を示すことがあります。

## 取り扱いと梱包

---

Everflon™ FEP樹脂の特性は保管期間の影響を受けません。保管環境は、容器から取り出した際に空気中の汚染物質の混入や樹脂表面への水分の結露を防ぐように設計する必要があります。吸収した水分を除去するため、100℃で4時間乾燥することをお勧めします。

Everflon™ FEP PF4610はペレット状で供給され、ポリエチレン製の内張りが施された25kgドラムに包装されています。

## C&FとEverflon™フッ素ポリマーについて

Everflon™は、PTFE、FEP、PFA、ETFE、PVDFなどのフッ素ポリマー材料を扱うC&Fグループのブランドです。C&FはEverflonをベースに、チューブ、コーティング、フィルムなどのフッ素ポリマー用途の開発も行っています。

詳細については、[www.everflon.com](http://www.everflon.com)、またはEverflon™フッ素ポリマーの紹介とC&F Chemicals Bookをご覧ください。



詳細については、[www.everflon.com](http://www.everflon.com) をご覧ください。  
販売および技術サポートに関するお問い合わせは、  
[info@everflon.com](mailto:info@everflon.com) までご連絡ください。

Everflon Fluoropolymer co.,ltd  
Fuqiao Industrial Park,C&F Ave,Chaidian,Wuhan, China. 43100  
Tel:+86-185-7168-9228